

葛飾総合高等学校 平成30年度 教科 地歴公民 科目 世界史B 年間授業計画

教科： 地歴公民 科目： 世界史B 単位数： 4単位

対象学年組： 第2・3学年

教科担当者： 三浦

使用教科書： 詳説 世界史B 改訂版 (山川出版社)

使用教材： グローバルワイド最新世界史図表 (第一学習社)

指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月 近世ヨーロッパ世界の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○大航海時代、アメリカ大陸の征服、商業革命と価格革命、について理解する ○ルネサンスの本質、文芸と美術、科学と技術、について理解する ○宗教改革の始まり、カルヴァン派と宗教改革の広がり、対抗宗教改革、について理解する ○主権国家と主権国家体制、イタリア戦争、スペインの全盛期、オランダの独立とイギリスの海外進出、フランスの宗教内乱と絶対王政、17世紀の危機と三十年戦争、東ヨーロッパの新しい動き、について理解する 	定期考査 提出物 授業態度	12

指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
5 月	近世ヨーロッパ世界の展開	<p>○重商主義政策、イギリス革命、イギリス議会政治の確立、ルイ14世紀の時代、プロイセンとオーストリア、北方戦争とロシア、ポーランドの分割、について理解する</p> <p>○アジア市場の攻防、アメリカにおける植民地争奪、奴隷貿易と近代分業システムの形成、について理解する</p> <p>○近代科学と近代的世界観、啓蒙思想、宮廷文化、成長する市民と文化、について理解する</p>	<p>定期考査 提出物 授業態度</p>	14

指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
6 月	近代欧米世界の成立／近代国 民国家の発展	<p>○世界最初の産業革命、機械の発明と交通機関の改良、資本主義体制の確立と社会問題の発生、について理解する</p> <p>○北アメリカ植民地の形成、アメリカ合衆国の独立、合衆国憲法の制定、について理解する</p> <p>○フランス革命の構造、立憲君主政の成立、戦争と共和政、革命の終了、皇帝ナポレオン、について理解する</p> <p>○ウィーン会議、ウィーン体制の動揺と七月革命、イギリスの自由主義的改革、ギリシアの独立と東方問題、社会主義思想の成立、1848年革命、について理解する</p>	<p>定期考査 提出物 授業態度</p>	14

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	近代国民国家の発展	<p>○クリミア戦争と列強体制の緩和、ロシアの改革、ヴィクトリア朝のイギリス、フランス第二帝政と第三共和政、イタリアの統一、ドイツの統一、ドイツ帝国の成立とビスマルク外交、北ヨーロッパ諸国の動向、国際的諸運動の進展、について理解する</p> <p>○ラテンアメリカの独立、アメリカ合衆国の領土拡大、南北戦争とその結果、アメリカ合衆国の重工業化と大国化、について理解する</p>	定期考査 提出物 授業態度	10

8月	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
9 月	近代国民国家の発展／アジア 諸地域の動揺	○貴族文化から市民文化の時代へ、文学・芸術における市民文化の潮流、近代諸科学の発展、近代大都市文化の誕生、について理解する ○オスマン帝国支配の動揺、アラブ民族の目覚め、オスマン帝国の改革、イラン・アフガニスタンの動向、について理解する ○西欧勢力の進出とインドの植民地化、植民地統治下のインド社会、インド大反乱とインド帝国の成立、東南アジアの植民地化、タイの情勢、について理解する	定期考査 提出物 授業態度	14

指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
10月	アジア諸地域の動揺／帝国主義とアジアの民族運動	<p>○清朝の動揺とヨーロッパの進出、欧米諸国との条約、国内動乱と近代化の始動、日本の開国と明治維新、東アジア国際秩序の再編、について理解する</p> <p>○第2次産業革命と帝国主義の成立、欧米列強の帝国主義と国内政治、第2インターナショナルの結成、について理解する</p> <p>○アフリカの植民地化、太平洋地域の分割、ラテンアメリカ諸国の従属と抵抗、列強の二極分化、について理解する</p>	定期考査 提出物 授業態度	14

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	帝国主義とアジアの民族運動 ／二つの世界大戦	<p>○中国分割の危機、日露対立と列強、日本の韓国併合、辛亥革命、インドにおける民族運動の形成、東南アジアにおける民族運動の形成、西アジアの民族運動と立憲運動、について理解する</p> <p>○バルカン半島の危機、第一次世界大戦の勃発、戦時外交と総力戦、大戦の結果、ロシア革命、ソヴィエト政権と戦時共産主義、ネップとソ連の成立、について理解する</p>	定期考査 提出物 授業態度	14

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	二つの世界大戦	<p>○ヴェルサイユ体制とワシントン体制、国際協調と軍縮の進展、西欧諸国の停滞、イタリアのファシズム、東欧・バルカン諸国の動揺、ソ連の社会主義建設、アメリカ合衆国の繁栄、について理解する</p> <p>○第一次世界大戦とアジア、日本の動きと東アジアの民族運動、国民党と共産党、インドにおける民族運動の展開、東南アジアにおける民族運動の展開、トルコ革命、イスラーム諸国の動向、アフリカの民族運動について理解する</p>	定期考査 提出物 授業態度	12

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	二つの世界大戦	<p>○世界恐慌とその影響、ニューディールとブロック経済、満州事変・日中戦争と中国の抵抗、ナチス＝ドイツとヴェルサイユ体制の崩壊、ソ連の五カ年計画とスターリン体制、ファシズム諸国の構成と枢軸の形成、について理解する</p> <p>○ナチス＝ドイツの侵略と開戦、ヨーロッパの戦争、独ソ戦、太平洋戦争、ファシズ諸国の敗北、大戦の結果、について理解する</p>	定期考査 提出物 授業態度	12

指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
2 月	冷戦と第三世界の独立	<p>○戦後国際秩序の形成、米ソ冷戦の始まり、東西ヨーロッパの分断、中華人民共和国の成立と南北朝鮮、東南アジアの独立、南アジア・西アジアの独立、について理解する</p> <p>○朝鮮戦争と軍拡競争の激化、アメリカ合衆国の「豊かな社会」化、西欧・日本の経済復興、ソ連の「雪どけ」と平和共存政策、について理解する</p>	定期考査 提出物 授業態度	14

指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
3 月	冷戦と第三世界の独立	○第三世界の連携、アフリカ諸国の独立と苦悩、ラテンアメリカ諸国とキューバ革命、米ソ両大国の動揺と平和共存への転換、ヨーロッパでの緊張緩和、中ソ対立と中国の動揺、ベトナム戦争とインドシナ半島、第三世界の開発独裁と南・東南アジアの自立化、について理解する	定期考査 提出物 授業態度	10